

第1回かぬまエコノミーティング記録

■開催日時：令和7年5月9日（金）14時30分～16時20分

■開催場所：屋台のまち中央公園 掬翠園

■ミーティングテーマ：「Made in 鹿沼」のまちづくり

～各分野における鹿沼自慢など～

■ミーティングの内容

テーマ	主な意見
個別テーマ①	私が考える「Made in 鹿沼」のイメージと、経済界が主体的に推進する「Made in 鹿沼」について
現在の強み（魅力）のグレードアップ	・物流の拠点化を進める。 ・いちご市鹿沼の“いちご”販売強化に加え、スイーツ等の加工品への展開を行うことで、生産者の所得アップと産地としてのさらなる魅力の向上を図り、結果として「いちご市鹿沼」のグレードアップをねらう。 ・本市の木材（杉、ヒノキ）の材質の硬さ、つやの違い等をアピールし、官民一体となった木材の需要拡大策を展開する。また豊富な森林資源を活用し、J-クレジットによる企業との連携を進める。 ・そばや米、いちごなど、優れた農産物の売り方を工夫することで、付加価値をつけていく。 ・木を中心とした木工の歴史を背景に、文化・観光振興に活かしていく。 ・企業誘致の面において、立地の良さ、災害が少なく震災の心配がないこと、さらには豊富な労働力をアピールする。 ・自然や文化も鹿沼ブランドとして認定し、売り出す。
弱点の克服で次のステップへ	宿泊・飲食施設が少ない弱点をどう克服していくか。売り方、PRの工夫が必要。

テーマ	主な意見
個別テーマ② 行政と市民、団体などが協働・共創して実施できるまちづくり	
逆境を強みに変えるまちづくり	・ 鳥獣被害やヤマビル対策の徹底を図り、森林資源の活用と、森林認証材をPR。売り方の検討。 ・ 起業家への空き家の提供システムの確立 ・ 農地、空き家・空き店舗などを資源としてとらえ、移住・定住、新たなまちづくりの拠点として活用できる体制づくり
シティプロモーションの手法の検討	日光や宇都宮市を活用したシティプロモーション手法の検討。 ⇒「宇都宮市から15分」「日光の手前」、2地域居住などの切り口で鹿沼市をプロモーション

第2回かぬまエコノミーティング

▶開催日時：令和7年7月16日（水）を予定

▶ミーティングテーマ：「Made in 鹿沼」のまちづくり

～各分野における鹿沼自慢など～

※第1回は参加者が全員男性であったため、第2回も同じテーマで、女性の視点から意見交換を行う。